

Raymarine航海計器システム ディスプレイユニットの仕様比較と対応トランスデューサー一覧

ディスプレイユニット	シリーズ名	i40シリーズ				i50シリーズ			i60シリーズ		i70s
	表示可能データ	水深	スピード+温度	風向+風速	水深、スピード+温度	水深	スピード+温度	水深、スピード+温度	風向+風速	クローズホールド計	多機能ディスプレイ
	商品番号	E70064	E70063	E70065	E70066	E70059	E70058	E70060	E70061	E70062	E70327
	本体サイズ	128mm × 72mm				110mm × 115mm					
	最大文字サイズ	29mm				37mm	37mm	20mm	13mm(*3)	13mm(*3)	49mm
	同時表示データ数	1	1	1	2	1	1	3	1	1	カスタム
	データ表示方式	デジタル							アナログ & デジタル		デジタル
	ネットワーク接続	SeaTalk1				SeaTalk1 & SeaTalkng					
バックライト仕様					3段階 & OFF						多段階
対応計測機器	水深用	A			A(*1)	A		A(*1)			C
	水深・スピード+温度用	A(*2)	A(*2)		A	A(*2)	A(*2)	A			C
	スピード+温度用		A		A(*1)		A	A(*1)			C
	ウィンドローターベクタ			A					A	※2	C
	ウィンドベーン			※1					A		C
	ラダーアングル										C
	i70スマートシリーズ	R	R	R	R	R	R	R	R		S

対応計測機器(対応トランスデューサー)に関する表中の表記について

A: アナログ接続。ディスプレイユニット背面のスピード端子ソケットにトランスデューサーのケーブルを直結して接続します。

C: コンバーター経由。iTC-5トランスデューサーコンバーターを経由して接続します。通信方式がSeaTalkngに変換され、i70s以外のディスプレイユニットからは補正操作が実行できなくなります。

S: SeaTalkng接続。i70sが接続されているSeaTalkngネットワーク上に組み込むことで接続されます。コンバーターを経由したり、i70sに直結させることは出来ません。

R: リピーターとして使用可能。SeaTalkngネットワーク経由で接続、データ表示は可能ですが、補正操作を実行するには必ずi70sが必要となります。

水深用トランスデューサーおよび水深、スピード+温度用トランスデューサーについて

*1: i40デュアルディスプレイ、i50トライデータディスプレイには水深計用ソケットとスピード+温度計用ソケットがあります。別個のトランスデューサーをそれぞれ接続することも、水深、スピード+温度の複合トランスデューサーを接続することも可能です。

*2: 水深、スピード+温度の複合トランスデューサーをi40/i50の水深専用ディスプレイ、スピード+温度専用ディスプレイに接続する場合は2つのディスプレイに各ケーブルを別個に接続します。

下記のディスプレイは一部または全部のトランスデューサーに接続出来ません

※1: i40風向+風速用ディスプレイにはウィンドベーンユニットを直結出来ません。

※2: クローズホールドディスプレイはリピーターです。いずれのトランスデューサーとも直結させることは出来ません。

旧モデルのディスプレイをお持ちの方

上記表のi40はST40に、i50およびi60はST60+に、i70はST70、ST70+に相当します。各種トランスデューサーの対応もシリーズと同様です。